



2020年3月2日

各位

会 社 名 株式会社カーブスホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 増 本 岳
 (コード番号：7085 東証一部)
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 松田 信也
 (TEL. 03-5418-9922)

東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2020年3月2日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2020年8月期（2019年9月1日から2020年8月31日）における当社グループの連結業績予想は次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

	2020年8月期 (予想)			2020年8月期 第1四半期累計期間 (実績)		2019年8月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売 上 高	29,236	100.0	4.3	7,335	100.0	28,036	100.0
営 業 利 益	5,789	19.8	6.5	1,603	21.9	5,436	19.4
経 常 利 益	5,691	19.5	8.6	1,592	21.7	5,242	18.7
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	3,909	13.4	5.5	1,099	15.0	3,706	13.2
1株当たり 当期(四半期)純利益	46円82銭			13円36銭		60円89銭	
1株当たり配当金	10円00銭			-		49円00銭	

(注)

- 2019年8月期(実績)及び2020年8月期第1四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
- 2020年8月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募株式数(2,415,000株)を含めた予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数(最大362,000株)は考慮しておりません。
- 当社の親会社であった株式会社コシダカホールディングス(以下、「コシダカホールディ

ングス」という。)は、2020年3月1日を効力発生日として同社が保有する当社株式の全株式を現物配当(金銭以外の財産による配当)により同社株主に分配すること(以下、「本スピンオフ」という。)を実施しております。2020年8月期(予想)の配当につきましては、本スピンオフの効力発生日2020年3月1日を配当起算日とし、現時点において、10円00銭を予定しております。

【2020年8月期業績予想の前提条件】

1. 当社グループ全体の見通し

当第1四半期連結累計期間の国内市況は、天候不順および2019年10月の消費増税の影響などにより個人消費の持ち直しに時間がかかっている中、米中貿易摩擦などにより外需も力強さを欠いております。また、少子高齢化が加速しており、超高齢化による社会問題が顕在化してきました。人生100年時代が到来し、国民のQOL (Quality of Life) の向上と増大する医療費・介護費の抑制のためにも健康寿命延伸に向けた取り組みの重要性が増してきております。

このような環境下において、当社グループは「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」を通じて正しい運動習慣を広めることによって、健康長寿社会の実現に寄与し、超高齢社会の課題の解決に貢献する「地域密着の健康インフラ」「社会課題解決型事業」として、店舗数の拡充及び顧客サービス強化による会員の満足度向上に努めてまいりました。

また当社は、当社の親会社であったコシダカホールディングスが、カラオケ事業及びカーブス事業の更なる企業価値の向上を目的として実施する本スピンオフに伴い、同社グループから独立した企業として本日、東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。当社は、本スピンオフに伴い単独の上場企業として、「地域密着の健康インフラ」「社会課題解決型事業」としての成長戦略の推進に一層努めてまいります。

国内においては、2019年10月に店舗数が2,000店舗を到達したことを記念したキャンペーンを実施し、数多くの方への運動を始めるきっかけづくりができました。また、前期より取り組んでまいりました顧客サービス重視による顧客満足度向上を通じた退会率の低減も功を奏し、その結果、当第1四半期累計期間における会員増加数は前年同期の会員増加数に比べ24千人増加（前年同期比138.1%増）しております。

これらによって、当第1四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数（メンズ・カーブスを除く）は前連結会計年度末比17店舗増加し（前期末比0.8%増）2,008店舗（内グループ直営店64店舗）に、会員数は42千人増加し864千人（同5.1%増）となりました。

海外においては、2019年7月に買収いたしましたCurves Europe B.V.（カーブス欧州事業）の成長を実現すべく、その基盤づくりに注力しております。

これらの施策により、2020年8月期の連結業績見通しにつきましては、売上高29,236百万円（前期比4.3%増）、営業利益5,789百万円（前期比6.5%増）、経常利益5,691百万円（前期比8.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,909百万円（前期比5.5%増）を見込んでおり、期初計画からの変更はありません。

2. 個別の前提条件

① 売上高

当社グループのフランチャイズ関連の売上高は、店舗出店計画をもとに試算した出店数に1店舗出店することによって発生する売上を乗じることで出店に関する売上を算出し、既存店舗に関する売上は当期の店舗数計画及び会員数等の計画と直前期と同水準の単価からランニング売上を算出し、その積み上げにより策定しております。

国内カーブス事業の出店数は、新規出店71店舗（前期比13.4%減）、当期末店舗数2,054店舗（前期末比3.2%増）を計画しております。新規出店については、フランチャイズ加盟企業の出店意向を確認したうえでフランチャイズ本部である当社グループで、出店余地・出店エリアなどを考慮した上で、出店数を管理しております。フランチャイズ加盟企業に成功していただけるように新規出店の基準を厳格化していることなどから新規出店数は前期比で減少する計画としております。当第1四半期累計期間における新規出店数は18店舗（前年同期比28.0%減）となっており、第2四半期は計画通り1・2月に出店を行いませんでしたが、第3四半期以降は第1四半期累計期間と同水準以上の出店を見込んでおります。

国内カーブス会員数については、直近2年間の実績と傾向、季節変動を踏まえ、新規出店店舗と既存店舗に分けて会員数を試算し、その積み上げにより全体の会員数を算出しております。この結果、期初計画の当期末会員数は846千人（前期末比3.0%増）となりますが、当第1四半期累計期間に実施したキャンペーンにより会員数は前年同期及び期初計画を上回って推移しております。

海外カーブス事業は2020年8月期より新たにCurves Europe B.V.を連結に取り込んでおります。一方で、Curves International, Inc.については、各国の出店数、閉店数の近年の傾向を踏まえ売上高を算出しております。

この結果、ロイヤルティなどフランチャイズ関連売上高は14,170百万円（前期比728百万円増、5.4%増）を見込んでおります。

ショッピングの売上高は、販売計画及び直前期の実績の推移をもとに、月別・商品種類別に売上高を見積もり、積み上げにより算出しております。具体的には、各月の店舗数に過去の実績と販売計画をもとに算出した1店舗当たりの商品別販売数を乗じることにより各月の商品別販売数を算出し、各月の商品別販売数に直前期と同水準の商品種類別平均単価を乗じることにより売上高予算を策定しております。

以上の結果、ショッピング売上高は15,065百万円（前期比471百万円増、3.1%増）を見込んでおります。

この結果、2020年8月期の売上高は29,236百万円（前期比1,200百万円増、4.3%増）を見込んでおります。

② 売上原価、売上総利益

直営店事業の売上原価は、既存店舗の人員増加を進める予定であり、採用計画をもとに人員の増加及び給与の増加による労務費の増加を見込んでおります。

フランチャイズ関連の新規出店における売上原価は、1店舗当たりの売上原価を直前期の実績と同水準として出店計画に基づき算出しております。

フランチャイズ関連の既存店における売上原価は、直前期の原価率と同水準で見込んでおります。

ショッピングの売上原価は、売上計画をもとに月別・商品種類別に売上原価を見積もり、積み上げにより試算をしており、物流費用の増加や計画策定時点で決まっている仕入価格等を反映して試算しております。

この結果、2020年8月期の売上原価は、17,409百万円（前期比878百万円増、5.3%増）を見込んでおります。

③ 販売費及び一般管理費、営業利益

人件費は、既存人員に関する費用は直前期の実績と過去の昇給率をもとに算出し、新規採用人員に関する費用は役職に応じた見込み金額と40名増の人員計画をもとに算出しております。

減価償却費は、既存資産の償却予定額と投資計画に基づく新規に発生する償却予定額との積み上げにより算出しております。

研究開発費は、サーキットトレーニングや商品開発に関する新たなエビデンス取得のための費用や新規事業開発のために必要である調査研究費用を見積もり算出しております。

のれん償却費は、2018年3月のCurves International, Inc.買収の際に計上されているのれんの償却予定額を見積もり算出しております。

その他上記以外の販売費及び一般管理費については、前期まで当社の経営管理体制の構築のために発生していた費用のうち一部が終了することからその減少額を見込み策定しております。

この結果、2020年8月期の販売費及び一般管理費は、6,036百万円（前期比32百万円減、0.6%減）を見込んでおります。

以上の結果、2020年8月期の営業利益は、5,789百万円（前期比353百万円増、6.5%増）を見込んでおります。

④ 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益は主に普通預金の受取利息となり、直前期の実績に基づき策定しております。

営業外費用は、借入金に対する支払利息を見込んでおり、借入金の返済まで発生することとなります。また、当社からCurves International, Inc.への貸付金に関して、計画策定時点で1USD=108.5円の為替レートを想定し、評価替えによる為替差損を見込んでおります。

以上の結果、2020年8月期の経常利益は、5,691百万円（前期比449百万円増、8.6%増）を見込んでおります。

⑤ 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益については、本スピノフに際しての資本再構築（親会社の保有する当社株式の税務上の帳簿価格をカーブス事業に係る本来の取得価格に一致させるための一連の取引。以下、「本資本再構築」という。）に伴い親会社であるコシダカホールディングスからの資本再構築に伴う受入金を見込んでおります。

特別損失として、上記の本資本再構築に伴い親会社であるコシダカホールディングスへの資本再構築に伴う支出金を見込んでおります。また店舗リニューアル等による固定資産除却損を見込んでおり、過年度の店舗リニューアルの傾向に基づき策定しております。

なお、本資本再構築に伴う特別利益と特別損失の金額は同額となり、損益に影響はございません。本資本再構築の詳細につきましては、コシダカホールディングスによる2019年10月10日付の「子会社株式の現物配当（株式分配型スピノフ）及び特定子会社の異動に関するお知らせ」の「5. 現物配当に関する税務上の取扱いについて（4）分配資産割合について」及び2020年1月14日付の「子会社株式の現物配当（株式分配型スピノフ）に係る分配資産割合（確定見込値）に関するお知らせ」の「3. 本資本再構築について」をご参照ください。

以上の結果、2020年8月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、3,909百万円（前期比203百万円増、5.5%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月2日

上場会社名 株式会社カーブスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7085 URL https://www.curvesholdings.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)増本 岳
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)松田 信也 (TEL)03(5418)9922
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	7,335	—	1,603	—	1,592	—	1,099	—
2019年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 1,111百万円 (—%) 2019年8月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	13.36	—
2019年8月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2019年8月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第1四半期の数値及び2020年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	33,898	6,839	20.2
2019年8月期	34,224	7,742	22.6

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 6,839百万円 2019年8月期 7,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	24.50	—	24.50	49.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,435	4.1	2,811	△1.7	2,761	△3.5	1,898	6.7	23.07
通期	29,236	4.3	5,789	6.5	5,691	8.6	3,909	5.5	46.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期1Q	82,298,284株	2019年8月期	82,298,284株
2020年8月期1Q	一株	2019年8月期	一株
2020年8月期1Q	82,298,284株	2019年8月期1Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)2019年8月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第1四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内市況は、天候不順および2019年10月の消費増税の影響などにより個人消費の持ち直しに時間がかかっている中、米中貿易摩擦などにより外需も力強さを欠いております。また、少子高齢化が加速しており、超高齢化による社会問題が顕在化してきました。人生100年時代が到来し、国民のQOL (Quality of Life) の向上と増大する医療費・介護費の抑制のためにも健康寿命延伸に向けた取り組みの重要性が増してきております。

このような環境下において、当社グループは「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」を通じて正しい運動習慣を広めることによって、健康長寿社会の実現に寄与し、超高齢社会の課題の解決に貢献する「地域密着の健康インフラ」「社会課題解決型事業」として、店舗数の拡充及び顧客サービス強化による会員の満足度向上に努めてまいりました。

国内においては、2019年10月に店舗数が2,000店舗に到達したことを記念したキャンペーンを実施し、数多くの方への運動を始めるきっかけづくりができました。また、前連結会計年度より取り組んでまいりました顧客サービス重視による顧客満足度向上を通じた退会率の低減も功を奏し、その結果、当第1四半期連結累計期間における会員増加数は前年同期の会員増加数に比べ24千人増加（前年同期比138.1%増）しております。

これらによって、当第1四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数（メンズ・カーブスを除く）は前連結会計年度末比17店舗増加し（前連結会計年度末比0.8%増）2,008店舗（内グループ直営店64店舗）に、会員数は42千人増加し864千人（同比5.1%増）となりました。

海外においては、2019年7月に買収いたしましたCurves Europe B.V.（カーブス欧州事業）の成長を実現すべく、その基盤づくりに注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りとなりました。

（売上高）

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前述のキャンペーンによる会員数の増加やショッピング売上高が堅調に推移したこと等により、73億35百万円となりました。

（営業利益）

当第1四半期連結累計期間の営業利益は、ショッピング原価や販売費及び一般管理費の抑制の効果もあり16億3百万円となりました。

（経常利益）

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、支払利息等の計上を加えた結果、15億92百万円となりました。

（親会社株主に帰属する四半期純利益）

当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税を5億7百万円計上したこと等により、10億99百万円となりました。

なお、当社グループはカーブス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億26百万円減少し338億98百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。

流動資産は8百万円減少し112億72百万円（同比0.1%減）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が3億29百万円、商品が1億68百万円増加した一方で、現金及び預金が4億8百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産は28百万円増加し3億51百万円（同比8.8%増）となりました。これは主に、工具、器具及び備品が23百万円、建物及び構築物が4百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は2億35百万円減少し218億48百万円（同比1.1%減）となりました。これは主に、商標権が2億30百万円およびのれんが17百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は1億10百万円減少し4億26百万円（同比20.5%減）となりました。これは主に、繰延税金資産が1億6百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は3億17百万円減少し226億26百万円（同比1.4%減）となりました。

(負債)

流動負債は11億52百万円増加し91億71百万円(同比14.4%増)となりました。これは主に、未払金が17億81百万円増加した一方で、未払法人税等が5億36百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は5億76百万円減少し178億87百万円(同比3.1%減)となりました。これは主に、長期借入金が4億60百万円および繰延税金負債が1億16百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は5億76百万円増加し270億59百万円(同比2.2%増)となりました。

(純資産)

純資産は9億2百万円減少し68億39百万円(同比11.7%減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により10億99百万円増加した一方で、剰余金の配当により20億16百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、わが国経済は2019年10月の消費増税の影響などにより個人消費の持ち直しに時間がかかることが予想される状況にあります。また、少子高齢化が加速しており、超高齢化による社会問題が顕在化してきました。人生100年時代が到来し、国民のQOL (Quality of Life) の向上と医療費・介護費抑制のためにも今後ますます健康寿命延伸に向けた取り組みの重要性が増すことが予想されます。

このような環境下において、当社グループは「女性だけの30分健康体操教室 カーブス」を通じて正しい運動習慣を広めることによって、健康長寿社会の実現に寄与し、超高齢社会の課題の解決に貢献する「地域の健康インフラ」「社会課題解決型事業」として、引き続き店舗数の拡充及び顧客サービス強化による会員の満足度向上に努めていく所存であります。

以上の状況により、当連結会計年度(2020年8月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高292億36百万円、連結営業利益57億89百万円、連結経常利益56億91百万円、親会社株主に帰属する当期純利益39億9百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,350,073	4,941,313
受取手形及び売掛金	3,780,423	4,110,245
商品	898,663	1,066,826
原材料及び貯蔵品	2,154	8,328
その他	1,346,906	1,254,587
貸倒引当金	△97,098	△109,154
流動資産合計	11,281,123	11,272,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	211,560	216,208
工具、器具及び備品	111,578	135,341
有形固定資産合計	323,138	351,550
無形固定資産		
のれん	1,456,101	1,438,398
商標権	19,020,017	18,789,050
ソフトウェア	632,543	701,025
その他	974,676	919,581
無形固定資産合計	22,083,339	21,848,055
投資その他の資産		
敷金及び保証金	245,807	245,190
繰延税金資産	273,159	166,320
その他	24,014	19,931
貸倒引当金	△5,772	△4,543
投資その他の資産合計	537,209	426,898
固定資産合計	22,943,687	22,626,504
資産合計	34,224,810	33,898,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,106,050	1,923,329
1年内返済予定の長期借入金	1,840,000	1,840,000
未払金	493,465	2,274,690
未払法人税等	940,561	404,386
預り金	1,801,177	1,956,057
その他	837,426	772,865
流動負債合計	8,018,682	9,171,329
固定負債		
長期借入金	14,260,000	13,800,000
繰延税金負債	4,153,324	4,037,146
資産除去債務	50,778	50,827
固定負債合計	18,464,102	17,887,974
負債合計	26,482,785	27,059,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,018	20,018
資本剰余金	18	18
利益剰余金	7,579,658	6,665,239
株主資本合計	7,599,694	6,685,275
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	142,331	154,073
その他の包括利益累計額合計	142,331	154,073
純資産合計	7,742,025	6,839,348
負債純資産合計	34,224,810	33,898,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	7,335,597
売上原価	4,304,172
売上総利益	3,031,424
販売費及び一般管理費	1,428,249
営業利益	1,603,175
営業外収益	
受取利息	63
為替差益	6,259
その他	1,842
営業外収益合計	8,166
営業外費用	
支払利息	14,710
その他	3,839
営業外費用合計	18,549
経常利益	1,592,792
特別損失	
固定資産除却損	98
特別損失合計	98
税金等調整前四半期純利益	1,592,693
法人税、住民税及び事業税	507,246
法人税等調整額	△14,100
法人税等合計	493,145
四半期純利益	1,099,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,099,547

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	1,099,547
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	11,742
その他の包括利益合計	11,742
四半期包括利益	1,111,290
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,111,290
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。